

# 移住者新聞

2023  
Vol. 2

二〇二三年八月  
発行：日田市  
ひた暮らし推進室



平成30年6月に福岡県福岡市より地域おこし協力隊として移住した草野貴弘さん・亜李砂さん夫妻。大山町の空き家バンクを購入し、本人と妻・子の家族3人暮らし。自然豊かな落ち着いた場所で楽しく暮らせるので気に入ってます。

し経営しています。

器用な貴弘さんはDIYで販売所からジビエの解体所、移動販売車や露天風呂まで自作したそうです。

自宅周辺は自然豊かで落ち着ける場所、湖を望めるウッドデッキもあるのが、福岡の友達や移住者友達がよく遊びに来るそうです。家族3人でのびのび暮らせる生活を楽しんでいます。

## ◆移住後の暮らし

福岡市に住んでいたころは、貴弘さんは企画会社、亜李砂さんはブライダルの仕事をしていました。7年前二人とも地域おこし協力隊として日田に移住し、大山町にある空き家バンク物件を購入しました。元々興味のあった狩猟免許を取得し、ジビエ料理の直売所である「奥日田獣肉所」を自宅に併設

全国一の暑さになることもある日田の夏。暑さばかりが目立っていますが、滝や河川プールなど涼しい場所もたくさん。またかき氷や冷たい食べ物等美味しいものが多いです。ぜひお気に入りを見つけて、夏ならではのひた暮らしを楽しんでいきましょう！  
今号は、福岡市から移住した草野さん夫婦を取材しました。



DIYで作成した奥日田獣肉店の販売所。口ゴもおしゃれで洗練された佇まい。

## ◆現在取り組んでいること

貴弘さんは狩猟から解体、直売まで全て一人で行っています。

世間のジビエ料理に対する評価はまだまだ低いと感じており、ジビエの価値や評価を上げるために、本当においしいものだけを商品化しています。そのため、夏は鹿、冬は猪と、旬のものしか狩猟せず、自分で一度食べておいしいと思つた個体・部位しか商品にしないというこだわりもあります。最近商品化しない部位を活用するためにペットフードとしても販売を始めました。

亜李砂さんはDIYで作成した移動販売車を野良CAFEとして出店しています。

自分の気の向くときに梅林湖やイベントで出店しています。コーヒー等飲み物のほかに小物類や奥日田獣肉店のグッズも人気よく売れています。



猟師として山に入るのは常に危険と隣り合わせ。それでも美味しい個体を追い求めて日々狩猟を行う。



バックナンバーはこちら



かわいい猫もたくさん



甲斐犬のハオ君

◆趣味について  
甲斐犬を飼い始めました。ジビエのペットフードも美味しそうに食べています。猫も福岡から2匹連れてきていますが、最近子どもも増えて可愛いです。



ペット用ジビエステーキも販売中。無添加で栄養もたっぷり。



旬の時期にとれたジビエは本当に美味しい。直売所での販売でも完売するほどの人気。



貴弘さんデザインの奥日田獣肉店Tシャツは大人気。道の駅かみつえ等で販売中。

◆ひた暮らして伝えたい事、知ってほしい事  
「移住をする」という選択肢を知らない人が多いので、日田市が移住ツアーをしていただいていたことが良かったです。また地域おこし協力隊退任後に、起業支援金制度があったことも助かりました。

◆今後の目標  
仕事面では猟師の裾野を広げて、ジビエの普及・価値を上げる活動をしたいです。また、3月に息子(吟君)が生まれました。私たちにとっては移住の地ですが、子供にとっては故郷になるので、楽しく暮らせる場所づくりをしていきたいです。



野良CAFÉはおしゃれな商品が並ぶ。ぜひ出店状況をインスタでチェック。

◆「ジビエ」とは…  
「ジビエ」とは狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味するフランス語で、狩猟の盛んなヨーロッパでは古くから料理として楽しむ食文化が育まれていました。  
日田市でとれるものは綺麗な水を飲み、山の中のものを食べ、太陽の光を浴び、山を駆け回った天然のジビエです。丁寧な下処理と加工技術でとても美味しくなっています。

◆「ジビエ」とは…  
「ジビエ」とは狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味するフランス語で、狩猟の盛んなヨーロッパでは古くから料理として楽しむ食文化が育まれていました。  
日田市でとれるものは綺麗な水を飲み、山の中のものを食べ、太陽の光を浴び、山を駆け回った天然のジビエです。丁寧な下処理と加工技術でとても美味しくなっています。



奥日田獣肉店  
(日田市大山町西大山8657-2)  
TEL0973-52-3822

野良CAFÉ  
(出店場所はインスタグラムで)  
TEL090-6890-3749



奥日田獣肉店  
インスタグラム



野良CAFÉ  
インスタグラム